

選択科目問題紙

2025年3月9日

(60分)

答案作成上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙の中を見てはいけません。
2. 選択科目は次のとおりです。

科目名	ページ数	通しページ	科目コード
日本史探究	日本史 1 ～ 日本史 11	1 ～ 11	日本史探究→ ア
世界史探究	世界史 1 ～ 世界史 8	13 ～ 20	世界史探究→ イ
地理探究	地 理 1 ～ 地 理 14	21 ～ 34	地 理 探 究→ ウ
政治・経済	政・経 1 ～ 政・経 12	35 ～ 46	政治・経済→ エ
数 学	数 学 1 ～ 数 学 4	47 ～ 50	数 学→ オ

3. 解答用紙は、記述解答用紙綴り（科目別）とマーク解答用の**解答シート**の2種類です。
4. 監督者の指示にしたがって、**解答シート**には受験番号、氏名を記入するとともに、受験番号をマークし、さらに**受験科目欄**に選択した科目名を記入した上で、**選択した科目のコード**をマークすること（裏表紙の例示を参照のこと）。
5. 試験開始後、監督者の指示にしたがって、記述解答用紙綴りから選択した科目の解答用紙をはずして、受験番号と氏名のシールを貼付すること。
6. 問題紙・解答用紙に印刷の不鮮明なところなどがあった場合には、監督者に申し出ること。
7. 【記述解答】の表示がされている問いについては、記述解答用紙の指定の箇所に解答すること。
8. 問題文中または文末等に、☐ の表示がされている問いについては、**解答シート**に解答すること。
☐ 中の数字が**解答シート**の解答列番号に対応しているので、例えば ☐ ① と表示のある問いに対して10と解答する場合には、解答列1の⑩にマークすること。
9. **解答シート** 解答上の注意事項
 - (1) 解答は、必ず鉛筆（F、HB）を使用すること。
 - (2) シートは汚したり、折り曲げたりしないこと。
 - (3) 一つの解答列に二つ以上マークしないこと。
 - (4) マークが正確にされていない場合には採点されないことがあります。
 - (5) 訂正するときは、プラスチック製の消しゴムを用いて消し残りのないように消し、消し屑を残さないこと。
10. 試験時間終了まで退室してはいけません。

世界史探究 (3月9日)

〔問題紙は 世界史 1 から 世界史 8 までの8頁です。〕

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点 25)

全オリエントを統一した(ア)朝ペルシアに対して、小アジアのミレトスを中心としたイオニア地方のギリシア人植民市が起こした反乱をきっかけに始まったのが、ペルシア戦争である。ペルシア軍は、反乱を支援したアテネに進攻したが、アテネ軍は紀元前490年の [A] の戦いで圧倒的多数のペルシア軍を撃退した。その後、アテネは〔a〕の指導により海軍を拡充させ、紀元前480年の [B] の海戦ではギリシア連合軍がペルシア軍を再び大敗させた。翌479年の戦いでもギリシア連合軍がペルシア軍を撃破し、ペルシア戦争におけるギリシアの勝利が確定した。

ペルシア戦争の後、ペルシアの再侵攻に備えて、アテネを盟主に(イ)同盟が結成された。アテネは、海軍力を背景に他の同盟諸国に対する支配力を強め、国内では軍艦の漕ぎ手として参戦した無産市民の発言力が高まったことを背景にして、紀元前5世紀半ば頃、将軍〔b〕の指導の下でアテネ民主政が完成した。

(イ)同盟によって急速に勢力を広げたアテネに対して、紀元前6世紀に結成されていた(ウ)同盟の盟主スパルタは脅威を感じ、対立する両者は紀元前431年に戦争に突入する。全ギリシア世界は、民主政ポリスを中心とするアテネ側と、貴族政ポリスを中心とするスパルタ側の二陣営に分かれた。当初は優勢であったアテネは、〔b〕を疫病で失うと政治が混乱し、ついにペルシアと結んだスパルタに敗れた。その後、アテネが勢力を回復させると共に、ペルシアによる扇動もあって、有力ポリス間の争いは収まらなかった。

紀元前4世紀後半、ギリシア人の一派である北方の(エ)が⁽¹⁾フィリッポス2世の下で軍事力を強め、紀元前338年の [C] の戦いでは、アテネ・テーベ連合軍を撃破し、ギリシア諸ポリスをほぼ制圧した。

問1 空欄(ア)～(エ)に入る適切な語句を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

【記述解答】

問2 空欄 ～ に入る語句として最も適切なものを、それぞれ次の1～6の中から一つずつ選びなさい。A , B , C

- 1 サラミス 2 イッソス 3 マラトン 4 カイロネイア
5 アルベラ 6 ニハーヴァンド

問3 空欄[a], [b]に入る語句として最も適切なものを、それぞれ次の1～6の中から一つずつ選びなさい。a , b

- 1 クレイステネス 2 アリストファネス 3 デモクリトス
4 ペリクレス 5 ペイシストラトス 6 テミストクレス

問4 下線部(1)について、この王の息子で、ギリシア連合軍を率いて東方遠征を行い、ギリシア・エジプトからインダス川に至る大帝国を樹立した人物は誰か。適切な人名を解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点 25)

A 年のノルマン=コンクエスト以来すでに1000年近い時間が経過したが、英仏両国は隣国として独特の関係を刻印してきた。⁽¹⁾1328年にフランスの B 朝が断絶し、フィリップ6世が C 朝を始めると、 B 家に血縁を持つ英国国王エドワード3世が王位継承権を主張し、1339年に至りフランスへの侵攻を開始した。これが所謂英仏「 D 戦争」の始まりである。

この背景には、経済権益をめぐる英仏の暗闘があった。フィリップ6世は、ボルドー・ワインの産地である英領ギエンヌを支配下に収めるために、ギエンヌ公の所領没収を宣言した。さらに、毛織物産地である E 地方の直接支配も目論んだのである。この地方に羊毛を輸出して利益を上げていた英国にとって、かかる趨勢は面白かろう筈がない。かくして英国の大陸侵攻が開始され、1346年の F の戦いでエドワード3世率いる英軍が勝利を収めたのを皮切りに戦況は長らく英軍優勢のうちに推移し、フランスの領土は削り取られていった。そして、1429年 G が英軍により包囲され、仏王 H 7世は絶体絶命の危機に瀕することとなった。そこに神がかりとなった農家出身の少女が現れ、⁽²⁾仏軍を鼓舞して劣勢を挽回するや、遂にはカレーを除くフランス本土から英軍を駆逐することに成功、1453年に D 戦争はフランスの勝利に終わったのである。

問1 空欄 A に入る西暦(年)として最も適切なものを、次の1～6の中から一つ選びなさい。
 ⑥

1 1054 2 1057 3 1066 4 1067 5 1072 6 1074

問2 下線部(1)に関連して、イギリス征服を果たして新王朝を樹立した征服王の適切な人名を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問3 空欄 B, C に入る王朝名として最も適切なものを、それぞれ次の1～6の中から一つずつ選びなさい。B ⑦, C ⑧

1 ブルボン 2 カペー 3 ボナパルト
 4 セルディック 5 ブルゴーニュ 6 ヴァロワ

問4 空欄 D に入る適切な語句を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問5 空欄 に入る地名として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。⑨

- 1 ブラバント 2 ロワール 3 フランドル 4 プロヴァンス

問6 空欄 に入る地名として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。⑩

- 1 アミアン 2 クレシー 3 ナント 4 トゥール

問7 空欄 に入る適切な地名を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問8 空欄 に入る適切な人名を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問9 下線部(2)の少女は、翌年英国側に捕縛され処刑された。この少女の適切な人名を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点 25)

アジアの途上国では、1960年代頃から強権的支配のもとで、政治・社会運動を抑圧しながら工業化が進められた。その工業化戦略⁽¹⁾としては、豊富な労働力や低賃金を呼び水に外国企業を誘致し、輸出向けの工業製品を生産する方式を取るのが特徴だった。また、冷戦⁽²⁾構造のもとで、東南アジアでは1967年になると、タイやシンガポールなど5カ国が地域協力を目的に連合を組織することになった。一方、中国が外国企業を誘致するのは、1978年の改革開放政策⁽³⁾の導入以降になる。

問1 表1は、アジアの主導者の一覧とその説明である。空欄(ア)～(ウ)には適切な国名を、空欄(エ)、(オ)には適切な主導者名を、それぞれ解答欄に記入しなさい。【記述解答】

表1

国名	主導者	内容	
大韓民国	(エ)	在任1963-1979年	軍人、日本との国交正常化を果たす
(ア)	マルコス	在任1965-1986年	親米路線を取る
(イ)	マハティール	在任1981-2003年 2018-2020年	ルック・イースト政策を提唱
シンガポール	リー=クアンユー	在任1965-1990年	自治政府成立とともに首相就任
(ウ)	(オ)	在任1968-1998年	九・三〇事件で実験を握る スカルノ失脚後の大統領

問2 下線部(1)について、何という体制だったか。適切な語句を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問3 下線部(2)に関連して、東アジアで実際には熱戦となり、今なお休戦状態の戦争を何と呼ぶか。適切な名称を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

〔解答欄〕 _____ 戦争

問 4 下線部 (3) の内容として適切なものを，次の 1～6 の中から二つ選びなさい。

⑪，⑫（順不同）

- 1 鄧小平の指導の下におこなわれた経済改革と対外経済開放政策である。
- 2 毛沢東の指導の下におこなわれた人民公社設立や農業の集団化政策である。
- 3 対外経済開放の拠点として「経済特区」が設けられた。
- 4 紅衛兵が組織され，多くの学生や青年たちが開放政策に動員された。
- 5 人民公社存続，農産物価格の規制がおこなわれた。
- 6 周恩来が率先して提起した「四つの現代化」が政策の基本である。

問題Ⅳ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点 25)

バルカン半島は、4世紀末のローマ帝国東西分離の際に境界となった地域であり、文化的にはその後、この境界の西側はカトリック圏、東側は正教圏となった。6～7世紀には、この境界を跨ぐ形で南スラヴ人が南下、定着し、それぞれの地域のキリスト教文化を身につけた。さらに14世紀以降、バルカン半島のほぼ全土が500年近くにわたってイスラーム教徒の [A] 朝によって支配された。これらのことから、バルカン半島は民族や宗教が複雑に入り組む多文化地帯となった。1829年にはギリシアが独立戦争を経て [A] 朝からの独立を達成、次いで1878年には、サン=ステファノ条約とベルリン⁽¹⁾条約によってセルビア、ルーマニア、(ア)が独立した。その後、1908年にはブルガリアも独立を宣言したが、同年、バルカン中部の(イ)は [B] 帝国に併合され、これが第一次世界大戦勃発の導火線の一つになった。第一次世界大戦後の1918年には「セルブ=クロアート=スロヴェーン王国」が成立、同国は1929年、「南スラヴ」民族の統合を謳って「ユーゴスラヴィア」(「南スラヴ人の国」の意味)と改称した。

第二次世界大戦中は、バルカン半島全土がナチス=ドイツとイタリアに占領されたが、ユーゴスラヴィアの人々は共産党書記長 [C] の指揮で抵抗運動を展開、ほぼ独力で占領軍の撃退と独立を達成した。他の東欧諸国が事実上ソ連軍により「解放」され、その後ソ連の「衛星国」化したのに対し、連邦共和国となったユーゴスラヴィアは、初代首相に就任した [C] のもとで独自路線を歩み、ソ連を中心とした軍事同盟である [D] にも加入せず、非同盟主義を維持し、労働者の自主管理と地方分権を特徴とする独特の社会主義連邦国家の建設を目指した。このため1948年には、ソ連共産党を中心とする国際的な共産党の連絡機関である [E] から除名された。しかし、1980年に [C] が死去し、1990年代に入ると、冷戦の終結や東欧革命の影響もあり、連邦内で民族間の対立が激化した。さらに、東西の経済格差も重なって1991年に西部のカトリック圏のスロヴェニアと(ウ)が独立を宣言、翌1992年には(イ)も独立を宣言し、これを阻止して連邦を維持しようとする正教圏の(エ)および(ア)との間で内戦が勃発、ユーゴスラヴィア連邦は解体した。

問1 空欄

 ～

 に入る適切な語句を、それぞれ解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問2 空欄(ア)～(エ)に入る語句として最も適切なものを、それぞれ次の1～8の中から一つずつ選びなさい。ア

，イ

，ウ

，エ

- | | | |
|---------|-------------|-----------------|
| 1 アルバニア | 2 コソヴォ | 3 クロアチア |
| 4 セルビア | 5 トランシルヴァニア | 6 ボスニア=ヘルツェゴヴィナ |
| 7 マケドニア | 8 モンテネグロ | |

問3 下線部(1)に関連の深い人物として最も適切なものを、次の1～6の中から一つ選びなさい。

- | | | |
|------------|---------------|----------|
| 1 ヴィルヘルム2世 | 2 グラッドストン | 3 ビスマルク |
| 4 ヒンデンブルク | 5 フランツ=ヨーゼフ1世 | 6 メッテルニヒ |